

地 理

地 理

第1問 地域調査と地図に関する次の問い(A・B)に答えよ。

A 次の図1は、山形県東根市から天童市にかけての地形図である。この地形図にみられる地域に関する下の問い(問1～5)に答えよ。



(5万分の1地形図「楯岡」, 原寸, 一部改変)

図 1

問1 図1中の標高や土地利用などから判断して、この地域について述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 山形空港は、後背湿地の平坦地につくられている。
- ② 「小見」集落は、扇状地の扇端部に立地している。
- ③ 「成生」集落は、最上川の自然堤防上に立地している。
- ④ 最上川は、蛇行しながら北から南へと流れている。

問2 図1中の乱川には、堤防が途切れている部分がみられる。その理由として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 生態系に配慮して、自然の流れに近い状況をつくっているため。
- ② 川から付近の農地に灌漑用水を供給する取水部を設けているため。
- ③ ふだんは川に水が流れておらず、堤防を建設する必要がないため。
- ④ 増水時に水をわざとあふれさせて、川の流れの勢いを弱めるため。

問3 東根市に工業団地があることに関心を持ち、山形県の工業について調べてみたところ、山形県には空港周辺や高速道路沿線などに工場が多く立地していることがわかった。次の表1は、山形県およびそれと類似する特徴を持つ県について、いくつかの業種別製造品出荷額等を比較したものであり、表1中のX・Yは、石油製品・石炭製品または電子部品・デバイス・電子回路のいずれかである。Xとアに該当する語句の組合せとして最も適切なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

表 1

	X	Y	食料品	総計
山形県	471	5	329	2,865
(ア)県	317	13	381	2,845
全国	16,143	15,016	29,782	331,809

単位は十億円。統計年次は2018年。

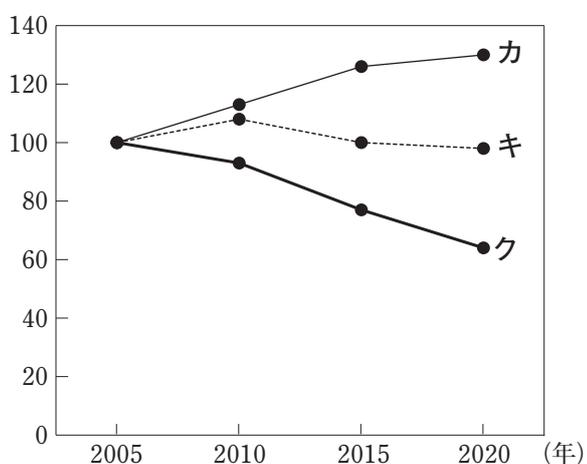
(『データブック オブ・ザ・ワールド 2022年版』により作成)

	X	ア
①	石油製品・石炭製品	熊本
②	石油製品・石炭製品	山口
③	電子部品・デバイス・電子回路	熊本
④	電子部品・デバイス・電子回路	山口

問4 図1中の奥羽本線には東京からの新幹線列車が直通しており、山形新幹線とよばれていることを知った。2022年時点で新幹線が開業している都道府県に該当しないものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ① 青森県 ② 熊本県 ③ 滋賀県 ④ 富山県 ⑤ 奈良県

問5 図1中の果樹園ではさくらんぼの栽培が行われていることを知り、さくらんぼの生産状況の推移について調べてみた。次の図2中のカ～クは、さくらんぼ農家数、さくらんぼ収穫量、さくらんぼ農家の1戸あたり栽培面積のいずれかの推移を、2005年を100とする指数で5年ごとの値を示したものである。指標名とカ～クとの組合せとして最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。



(農林水産省の資料により作成)

図 2

	①	②	③	④	⑤	⑥
農家数	カ	カ	キ	キ	ク	ク
収穫量	キ	ク	カ	ク	カ	キ
農家1戸あたり栽培面積	ク	キ	ク	カ	キ	カ

B さまざまな地図に関する次の問い(問6・7)に答えよ。

問6 正距方位図法とメルカトル図法について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 正距方位図法では、地図中の任意の直線が等角航路を示す。
- ② 正距方位図法では、地図中の任意の直線が大圏航路を示す。
- ③ メルカトル図法では、地図中の任意の直線が等角航路を示す。
- ④ メルカトル図法では、地図中の任意の直線が大圏航路を示す。

問7 次の文中の空欄サには下の a・b のいずれかの語句が、空欄シには c・d のいずれかの文があてはまる。サとシにあてはまる語句・文の組合せとして最も適当なものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。

・絶対分布図の典型的なものは(サ)である。
・メッシュマップは、(シ)という利点がある。

- a 階級区分図
- b ドットマップ
- c 地図に重ねた等面積の網目ごとの数値を示しており、統計処理しやすい
- d 地図を統計数値に合わせて変形させており、数値を効果的に示せる

	①	②	③	④
サ	a	a	b	b
シ	c	d	c	d

第2問 農林水産業に関する次の問い(問1～7)に答えよ。

問1 次の図1は、ある架空の地域における年平均気温と年降水量の等値線図を示したものであり、下のア～ウの文は、図1中のA～Cのいずれかの農牧業地域について説明したものである。A～Cとア～ウとの組合せとして最も適当なものを、あとの①～⑥のうちから一つ選べ。ただし、地形条件や都市の分布などの気候以外の条件は考慮しないこととし、近代的な灌漑農業などは行われていないこととする。 8

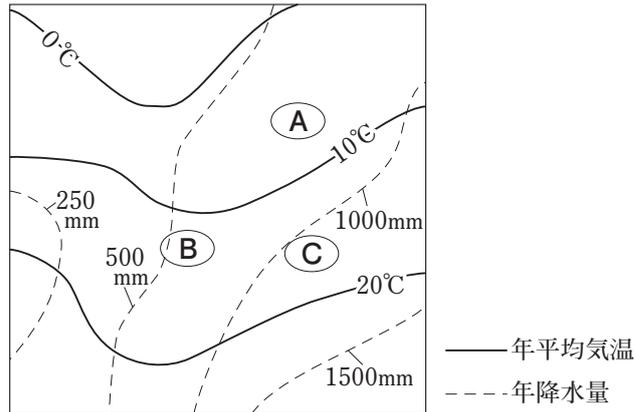


図 1

- ア 牧草を栽培し、乳牛を飼育する酪農が行われている。
- イ 肥沃な黒土が分布し、小麦の栽培が行われている。
- ウ とうもろこしなどの栽培と肉牛の飼育を組み合わせた混合農業が行われている。

	①	②	③	④	⑤	⑥
A	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
B	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
C	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

問2 次の表1は、おもな農作物について輸出量・輸入量上位5か国とその世界計に占める割合を示したものであり、表1中のカ・キは小麦、とうもろこしのいずれか、E・Fは輸出量、輸入量のいずれかである。小麦の輸入量に該当するものを、表1中の①～④のうちから一つ選べ。 9

表 1

(単位：%)

	カ	キ																								
E	<table border="1"> <tr><td>日本</td><td>8.8</td></tr> <tr><td>メキシコ</td><td>8.5</td></tr> <tr><td>ベトナム</td><td>6.3</td></tr> <tr><td>韓国</td><td>6.3</td></tr> <tr><td>スペイン</td><td>5.5</td></tr> <tr><td colspan="2">①</td></tr> </table>	日本	8.8	メキシコ	8.5	ベトナム	6.3	韓国	6.3	スペイン	5.5	①		<table border="1"> <tr><td>インドネシア</td><td>6.1</td></tr> <tr><td>エジプト</td><td>5.8</td></tr> <tr><td>トルコ</td><td>5.6</td></tr> <tr><td>イタリア</td><td>4.2</td></tr> <tr><td>フィリピン</td><td>4.0</td></tr> <tr><td colspan="2">②</td></tr> </table>	インドネシア	6.1	エジプト	5.8	トルコ	5.6	イタリア	4.2	フィリピン	4.0	②	
	日本	8.8																								
メキシコ	8.5																									
ベトナム	6.3																									
韓国	6.3																									
スペイン	5.5																									
①																										
インドネシア	6.1																									
エジプト	5.8																									
トルコ	5.6																									
イタリア	4.2																									
フィリピン	4.0																									
②																										
F	<table border="1"> <tr><td>ブラジル</td><td>23.3</td></tr> <tr><td>アメリカ合衆国</td><td>22.6</td></tr> <tr><td>アルゼンチン</td><td>19.6</td></tr> <tr><td>ウクライナ</td><td>13.3</td></tr> <tr><td>ルーマニア</td><td>3.6</td></tr> <tr><td colspan="2">③</td></tr> </table>	ブラジル	23.3	アメリカ合衆国	22.6	アルゼンチン	19.6	ウクライナ	13.3	ルーマニア	3.6	③		<table border="1"> <tr><td>ロシア連邦</td><td>17.8</td></tr> <tr><td>アメリカ合衆国</td><td>15.1</td></tr> <tr><td>カナダ</td><td>12.7</td></tr> <tr><td>フランス</td><td>11.1</td></tr> <tr><td>ウクライナ</td><td>7.4</td></tr> <tr><td colspan="2">④</td></tr> </table>	ロシア連邦	17.8	アメリカ合衆国	15.1	カナダ	12.7	フランス	11.1	ウクライナ	7.4	④	
	ブラジル	23.3																								
アメリカ合衆国	22.6																									
アルゼンチン	19.6																									
ウクライナ	13.3																									
ルーマニア	3.6																									
③																										
ロシア連邦	17.8																									
アメリカ合衆国	15.1																									
カナダ	12.7																									
フランス	11.1																									
ウクライナ	7.4																									
④																										

統計年次は 2019 年。

(『データブック オブ・ザ・ワールド 2022 年版』により作成)

問3 近年では、農畜産物の貿易に関してフェアトレードとよばれる取り組みが行われている。フェアトレードの内容・目的と、フェアトレードの理念で取引されている農畜産物の例の組合せとして最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 10

(内容・目的)

- サ 生産地や生産者が明示された安全な農畜産物の輸出入を目指す貿易
- シ 農畜産物の生産者に対して公正な賃金を支払うことを目指す貿易
- ス 農畜産物の輸出入にかかる関税の引き下げや撤廃を目指す貿易

(農畜産物の例)

- P アメリカ合衆国で生産される牛肉
- Q グアテマラで生産されるコーヒー豆

	①	②	③	④	⑤	⑥
内容・目的	サ	サ	シ	シ	ス	ス
農畜産物の例	P	Q	P	Q	P	Q

問4 次の表2中の①～④は、米、大豆、ねぎ、レタスのいずれかの生産量上位4都道府県を示したものである。ねぎに該当するものを、表2中の①～④のうちから一つ選べ。 11

表 2

	①	②	③	④
第1位	長野	北海道	千葉	新潟
第2位	茨城	宮城	埼玉	北海道
第3位	群馬	福岡	茨城	秋田
第4位	長崎	佐賀	群馬	山形

統計年次は、米・大豆が2020年産、ねぎ・レタスが2019年産。

(『日本国勢図会 2021/22年版』により作成)

問5 次の文章は、日本の漁業種類別生産量の推移について述べたものである。文章中の空欄タ・チには遠洋、沖合のいずれか、ツには下のa・bのいずれかの文があてはまる。タ～ツにあてはまる語句・文の組合せとして最も適当なものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。

12

日本の漁業種類別生産量の推移を見ると、(タ)漁業は1970年代半ばに衰退したが、(チ)漁業はその後も成長した。しかし、1980年代後半になると海流の変化や(ツ)などにより、(チ)漁業の漁獲量も急減した。

a 急速な円高の進行

b 石油危機による燃料費の高騰

	①	②	③	④
タ	遠洋	遠洋	沖合	沖合
チ	沖合	沖合	遠洋	遠洋
ツ	a	b	a	b

問6 次の表3中の①～④は、えび、かに、さけ・ます、たこのいずれかについて、日本の輸入相手先上位3か国を示したものである。さけ・ますに該当するものを、表3中の①～④のうちから一つ選べ。 13

表 3

	①	②	③	④
第1位	ロシア連邦	ベトナム	モーリタニア	チリ
第2位	カナダ	インド	モロッコ	ノルウェー
第3位	アメリカ合衆国	インドネシア	中国	ロシア連邦

金額による。統計年次は2020年。

(農林水産省「農林水産物輸出入統計」により作成)

問7 日本の林業と木材輸入について述べた文として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 14

- ① 日本の国土面積に占める森林の割合は、世界全体の平均より高い。
- ② 日本の木材輸入先の上位は、熱帯林の割合の高い国々が占めている。
- ③ 日本の国産丸太の素材の多くは、スギなどの針葉樹となっている。
- ④ 2000年以降は、国産木材の生産の減少に歯止めがかかっている。

第3問 交通・通信，物流に関する次の問い(問1～7)に答えよ。

問1 2000年以降の日本における交通と商業の変化について述べた次のア・イの文の正誤の組合せとして最も適当なものを，下の①～④のうちから一つ選べ。 15

ア 1世帯当たりの乗用車保有台数をみると，東京都などの大都市部よりも地方のほうが多くなっている。

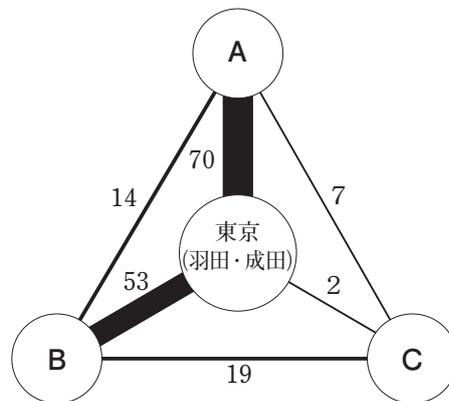
イ 商業業態ごとの販売額をみると，都市中心部のデパートより郊外のショッピングセンターのほうが伸びている。

	①	②	③	④
ア	正	正	誤	誤
イ	正	誤	正	誤

問2 次の図1は，東京(羽田・成田)，大阪(伊丹・関西)，仙台，福岡の4空港間の1日当たり航空便数*を示したものであり，図1中のA～Cは，大阪，仙台，福岡のいずれかである。空港名とA～Cとの組合せとして最も適当なものを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

16

*利用客数の減少などによる運休中の便も含めた便数。



(『JTB時刻表 2021年7月号』により作成)

図 1

	①	②	③	④	⑤	⑥
大阪(伊丹・関西)	A	A	B	B	C	C
仙 台	B	C	A	C	A	B
福 岡	C	B	C	A	B	A

問3 次の表1は、3か国における鉄道輸送量を示したものであり、表1中のカ～クは、アメリカ合衆国、ドイツ、日本のいずれかである。国名とカ～クとの組合せとして最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 17

表 1

	鉄道旅客輸送量 (百万人キロ)	鉄道貨物輸送量 (百万トンキロ)
カ	441,614	19,369
キ	79,456	70,614
ク	10,239	2,525,217

統計年次は2018年。ただし、ドイツの鉄道貨物輸送量は2017年。

(『データブック オブ・ザ・ワールド 2022年版』により作成)

	①	②	③	④	⑤	⑥
アメリカ合衆国	カ	カ	キ	キ	ク	ク
ドイツ	キ	ク	カ	ク	カ	キ
日本	ク	キ	ク	カ	キ	カ

問4 世界の物流について述べた文として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。

18

- ① 世界の港湾別のコンテナ貨物取扱量をみると、上位の多くを東・東南アジアの港湾が占めている。
- ② 航空貨物取扱量の増加に伴い、2000年以降の海上コンテナ貨物の取扱量は年々減少してきている。
- ③ 地球温暖化の影響で、東アジアとヨーロッパとを北極海経由で結ぶ海上輸送ルートの開発が期待されている。
- ④ 原油や鉄鉱石、石炭などの資源は航空輸送が困難であり、おもに船舶を利用して輸送されている。

問5 貿易収支(2019年)が黒字となっている国の組合せとして最も適当なものを、次の①～④

のうちから一つ選べ。 19

- | | |
|-------------|--------------|
| ① イギリスとインド | ② イギリスとブラジル |
| ③ インドとロシア連邦 | ④ ブラジルとロシア連邦 |

問6 次の表2は、日本における自動車の輸出・輸入の相手先上位5か国を示したものであり、表2中のP・Qは日本の輸出先または輸入先のいずれか、サ・シはアメリカ合衆国または中国のいずれかである。日本の輸出先とアメリカ合衆国との組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 20

表 2

	P	Q
第1位	ドイツ	(サ)
第2位	(サ)	(シ)
第3位	タイ	オーストラリア
第4位	イギリス	カナダ
第5位	イタリア	アラブ首長国連邦

金額による。統計年次は2020年。

(『日本国勢図会 2021/22年版』により作成)

	①	②	③	④
日本の輸出先	P	P	Q	Q
アメリカ合衆国	サ	シ	サ	シ

問7 世界各国における情報通信手段の普及状況について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 21

- ① アメリカ合衆国では、早くから情報通信機器の普及が進み、パソコンの生産台数と販売台数はともに世界第1位となっている。
- ② インドでは、インフラの整備に伴って固定電話の普及が急速に進んでおり、固定電話の普及率は日本を上回っている。
- ③ 中国では、インターネットのブロードバンド回線の整備が急速に進んでおり、インターネットの利用者数はアメリカ合衆国を上回っている。
- ④ ケニアでは、電話回線の整備が必要ない携帯電話の普及が急速に進んでおり、携帯電話の普及率は日本を上回っている。

第4問 イタリアに関する次の問い(問1～7)に答えよ。

問1 イタリアの自然環境と生活について述べた次の文章中の下線部a～cについて、内容が正しいものの組合せとして最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 22

イタリアの地中海沿岸の地域には、a 石灰岩が広く分布しており、それを利用してつくられた建築物が多くみられる。また、b その岩石が風化してできたチェルノーゼムとよばれる土壌が分布している。イタリア南部のアルペロベッコにみられるとんがり屋根を持つ家屋群は、c 夏の降雨の多さに対応してつくられたものである。

- ① aのみ ② bのみ ③ cのみ
④ aとb ⑤ aとc ⑥ bとc

問2 次の図1中のXには、第3のイタリア(サードイタリア)とよばれる工業地域がみられる。この工業地域について述べた文として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

23

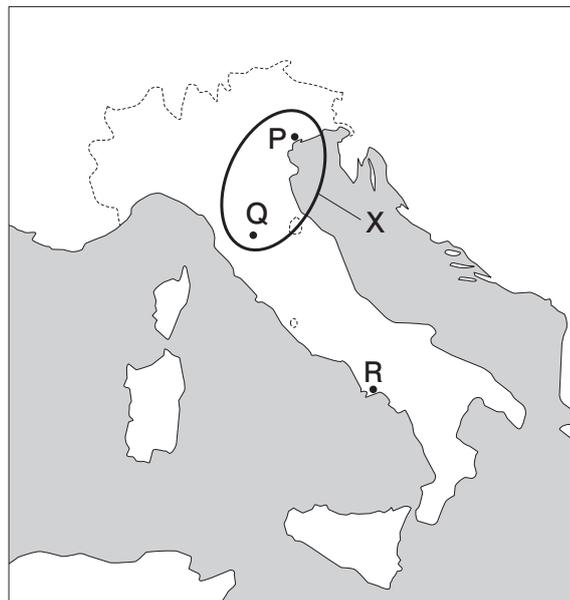


図 1

- ① 皮革・繊維製品などを、少品種大量生産する大工場が多く分布している。
② 皮革・繊維製品などを、多品種少量生産する中小工場が多く分布している。
③ 電子・情報機器などを、少品種大量生産する大工場が多く分布している。
④ 電子・情報機器などを、多品種少量生産する中小工場が多く分布している。

問3 イタリアには世界遺産に登録されている観光地が数多くある。次のカ～クの文は、図1中のP～Rのいずれかの観光地について説明したものである。P～Rとカ～クとの組合せとして最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 24

- カ 火山噴火に伴う火砕流によって壊滅した古代都市の遺跡がみられる。
- キ 地中海貿易で発展した都市であり、数多くの運河と歴史的建造物がみられる。
- ク ルネサンスの中心地として知られ、巨大なドームの教会や美術作品に恵まれる。

	①	②	③	④	⑤	⑥
P	カ	カ	キ	キ	ク	ク
Q	キ	ク	カ	ク	カ	キ
R	ク	キ	ク	カ	キ	カ

問4 次の表1は、イタリアが世界上位の生産量をほこる農畜産物について生産量上位5か国を示したものであり、表1中のサ～スは、オリーブ、チーズ、ワインのいずれかである。品目名とサ～スとの組合せとして最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

25

表 1

	サ	シ	ス
第1位	スペイン	イタリア	アメリカ合衆国
第2位	イタリア	フランス	ドイツ
第3位	モロッコ	スペイン	フランス
第4位	トルコ	アメリカ合衆国	イタリア
第5位	ギリシャ	中国	オランダ

統計年次は、オリーブが2019年、チーズ・ワインが2018年。
 (『データブック オブ・ザ・ワールド 2022年版』により作成)

	①	②	③	④	⑤	⑥
オリーブ	サ	サ	シ	シ	ス	ス
チーズ	シ	ス	サ	ス	サ	シ
ワイン	ス	シ	ス	サ	シ	サ

問5 イタリアについて述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

26

- ① 首都が、国内で最も人口の多い都市となっている。
- ② 1人当たり GNI は、国の北部より南部のほうが高い。
- ③ 65歳以上の高齢者の割合は、EU 平均より高い。
- ④ 国際観光収支では、収入が支出を上回っている。

問6 イタリアについて述べた次のタ・チの文の正誤の組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 27

タ EUの基礎となっている EC(ヨーロッパ共同体)には、その発足当時から加盟していた。

チ フランスやスイスとは、国境を越えて自由に行き来することができる。

	①	②	③	④
タ	正	正	誤	誤
チ	正	誤	正	誤

問7 次の表2は、イタリアの貿易額(金額)による輸出・輸入相手上位5か国とその割合を示したものであり、表2中のナ～ヌは、アメリカ合衆国、中国、ドイツのいずれかである。国名とナ～ヌとの組合せとして最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 28

表 2

輸出相手国	(%)	輸入相手国	(%)
(ナ)	12.8	(ナ)	16.3
フランス	10.3	(ヌ)	8.7
(ニ)	9.8	フランス	8.5
スイス	5.8	オランダ	5.9
イギリス	5.2	スペイン	5.3

統計年次は2020年。

(『データブック オブ・ザ・ワールド 2022年版』により作成)

	①	②	③	④	⑤	⑥
アメリカ合衆国	ナ	ナ	ニ	ニ	ヌ	ヌ
中国	ニ	ヌ	ナ	ヌ	ナ	ニ
ドイツ	ヌ	ニ	ヌ	ナ	ニ	ナ

第5問 次の図1を見て、アフリカに関する次の問い(問1～7)に答えよ。

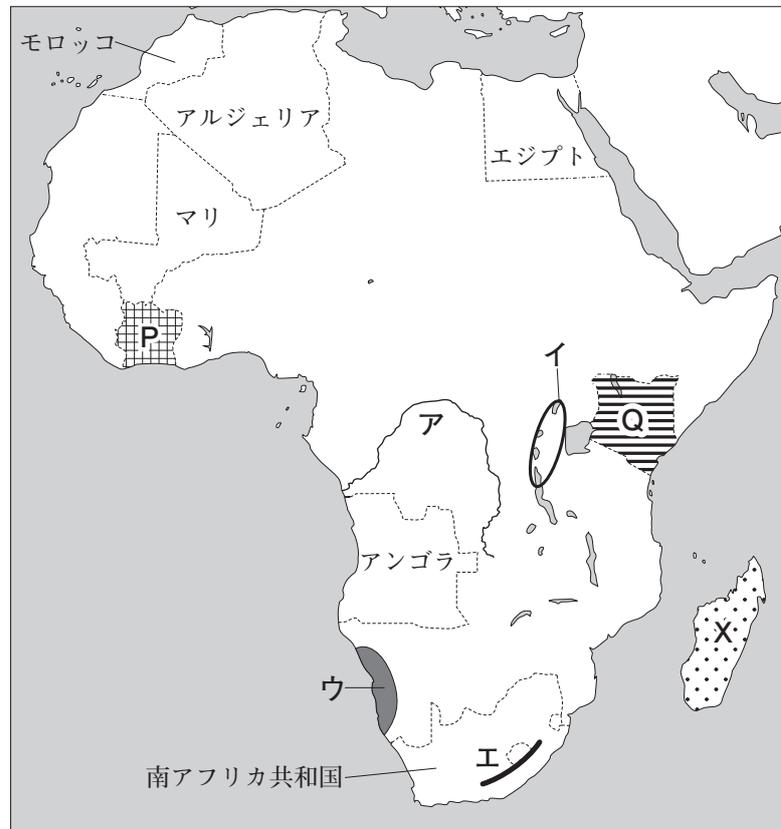


図 1

問1 図1中のア～エの地域の自然環境について述べた文として**適当でないもの**を、次の①～④

のうちから一つ選べ。 29

- ① アの河川は低平な土地を流れており、大西洋から河川中流まで外洋船が航行できる。
- ② イの地域には地溝帯が分布しており、それに沿って火山がみられる。
- ③ ウの地域には、沿岸を流れる寒流の影響で形成された砂漠が広がっている。
- ④ エの山脈は古期造山帯に属しており、石炭などの産出が盛んである。

問2 図1中のXでは、島の東西で自然環境が大きく異なる。これについて述べた次の文中の空欄カ・キにあてはまる語句の組合せとして最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 30

図1中のXの島では(カ)が吹いており、降水量が少ない島の(キ)には乾燥に強いバオバブの木が多く生育している。

	①	②	③	④	⑤	⑥
カ	季節風	季節風	偏西風	偏西風	貿易風	貿易風
キ	西側	東側	西側	東側	西側	東側

問3 次の文は、図1中のP・Qのいずれかの国について述べたものである。また、下の表1中のサ・シは、この2か国の貿易輸出額上位5品目を示したものである。次の文に該当する国の位置と輸出品目の記号の組合せとして最も適当なものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。なお、P・Qはケニア、コートジボワールのいずれかである。 31

この国の旧宗主国はイギリスであり、英語のほかにスワヒリ語が公用語に採用されている。

表 1

	サ	シ
第1位	茶	カカオ豆
第2位	野菜と果実	金(非貨幣用)
第3位	切り花	石油製品
第4位	石油製品	野菜と果実
第5位	衣類	天然ゴム

統計年次は、P国が2019年、Q国が2020年。
 (『データブック オブ・ザ・ワールド 2022年版』により作成)

	①	②	③	④
国の位置	P	P	Q	Q
輸出品目	サ	シ	サ	シ

問4 図1中に示したアンゴラの貿易について述べた次の文中の空欄タ・チにあてはまる語句の組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 32

アンゴラでは(タ)の産出と輸出が盛んであり、最大の輸出先は(チ)になっている。

	①	②	③	④
タ	原油	原油	銅 鉱	銅 鉱
チ	アメリカ合衆国	中国	アメリカ合衆国	中国

問5 次の表2中のナ～ヌは、図1中に示したアルジェリア、マリ、南アフリカ共和国のいずれかについて、平均寿命と男女別の識字率を示したものである。国名とナ～ヌとの組合せとして最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 33

表 2

	平均寿命 (歳)	識字率(%)	
		男	女
ナ	59.3	46.2	25.7
ニ	64.1	87.7	86.5
ヌ	76.9	87.4	75.3

統計年次は2017～2019年のいずれか。
(『データブック オブ・ザ・ワールド 2022年版』により作成)

	①	②	③	④	⑤	⑥
アルジェリア	ナ	ナ	ニ	ニ	ヌ	ヌ
マ リ	ニ	ヌ	ナ	ヌ	ナ	ニ
南アフリカ共和国	ヌ	ニ	ヌ	ナ	ニ	ナ

問6 南アフリカ共和国について述べた文として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 34

- ① 人種隔離政策(アパルトヘイト)は1960年代に終結し、黒人大統領が誕生した。
- ② 国内経済の中心で人口最大の都市は、ヨハネスバーグである。
- ③ 工業化が進展しており、自動車や機械類の輸出も盛んである。
- ④ 南西部では、地中海性気候を生かしたワインの生産も盛んである。

問7 次の表3中のハ～フは、図1中に示したアルジェリア、エジプト、モロッコのいずれかについて、輸出額に占める部門別割合を示したものである。国名とハ～フとの組合せとして最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 35

表 3

	食料品	原材料と燃料	工業製品	その他
ハ	21.2	7.8	70.8	0.2
ヒ	1.0	96.3	2.7	0.0
フ	18.1	23.6	47.8	10.9

単位は%。統計年次は2017～2020年のいずれか。

(『データブック オブ・ザ・ワールド 2022年版』により作成)

	①	②	③	④	⑤	⑥
アルジェリア	ハ	ハ	ヒ	ヒ	フ	フ
エジプト	ヒ	フ	ハ	フ	ハ	ヒ
モロッコ	フ	ヒ	フ	ハ	ヒ	ハ

(地理の問題は終わり)